

Contents — 【目次】

- 02 年頭のごあいさつ
- 04 母から子への手紙コンテスト
- 06 ハーイ、きらりさん Special
- 08 申告相談会
- 10 まちのわだい
- 12 笑顔でこんにちは/スクールトピックス ほか
- 14 平成27年度児童・園児募集
- 16 いなわしろタウンページ
- 18 暮らしの情報広場
- 20 みんなの美術館/食生活改善推進員コーナー

【今月の表紙】



お友達や先生の応援を受けながらもちをつくのは、さくらA組の佐藤大護くん和小椋絵莉奈ちゃん。みんなの大きな掛け声に後押しされて、きねの重たさを忘れてたかのような笑顔です。

有料広告募集中

町は、「広報猪苗代」に掲載する有料広告を募集しています。事業所の宣伝、広告などにぜひご活用ください。手続きや料金など、詳しくは下記にお問い合わせください。  
 総務課 秘書広報係 ☎(62) 2111

「母から子への手紙」コンテスト

第13回「母から子への手紙コンテスト」の表彰式は12月6日、学びいなかで行われ、大賞を受賞した渋谷江津子さん(青森県)らに表彰状や記念品などが贈られました。このコンテストは、本町出身の医学者、野口英世博士の母シカが、渡米中の野口博士に宛てて書いた手紙にちなみ、母と子の絆を感じてもらおうと、平成14年から実施しています。

10月18日に行われた一次選考会では、町内のお母さん63人が、国内外から寄せられた1465点の中から51作品を選出。11月4、5の両日開かれた最終選考会では、芥川賞作家で福聚寺住職の玄侑宗久さん、エッセイストの大石邦子さん、春日居郷土館・小川正子記念館名誉館長の末利光さん、一次選考委員代表の小林光子さんの4人が厳正に審査し、大賞、準大賞、日本郵便賞各1点、優秀賞7点、佳作41点の入賞作品を決定しました。本町からは、福地優子さん(志津)が優秀賞、石戸谷友希さん(金曲)が佳作を受賞しました。

大賞 渋谷江津子さん(青森県)

六人の子育て真っ最中の娘へ 母からの手紙

一颯 孔明 泰成 みなみ 真心 明生 みんな元気になりますか。六年生を頭に下は二歳。看護師をしながら、食べさせ、着させ、弁当をつくり、みんなの話を聞いてやり、目が回る毎日でしょうね。

私は、四人目を妊娠した頃から、「え、また？無理よ」と否定的で、それでもあなたは、「三人目からは一人増えても二人増えてもたいしてかわらないから」と、まるで、子猫を生むような気軽さで、六人の子の親になったのでした。

六人目のとき、私は喜びより心配がさきで「なにを考えたんだか」と言い、その時、あなたが返した言葉は「じいも、ばあも、私達だっけいずれは死ぬのよ。その時兄弟がいっぱいだと、どんな世の中でも助け合っていけるじゃない」でした。私はあなたに第一人しか作ってやれませんでした。それも親の都合だけで、子どものことは少しも頭にありませんでした。今さらですが、ごめんなさい。私たちも精一杯応援します。頑張ってください。

優秀賞 福地優子さん(志津)



選考委員を務めていたので、入賞して複雑な気持ちもあります。が、十三日市のことを皆さんに知ってもらえてうれしいです。

佳作 石戸谷友希さん(金曲)



忙しさに追われる日々の中で、娘のことを考えて言葉を残すいい機会だと思い、今回初めて応募しました。

哲哉さん、元気ですか。今日は初市。今年は穏やかな空でした。通りは、例年のように着ぶくれた人達が行き交い、赤・紺・黄色の露天の幕。そして、山盛りの起き上がり小法師。見たことあるよね。親指大で滴型の小さな張り子。朱色の着物に、胡粉の白い顔。細筆書きの目と口は、一つ一つ表情があるんだよ。その鮮やかな朱色が雪国のお正月の色。一年の無病息災繁栄を願って、家族の人数より一つ多く小法師を買うの知ってたかい。

眺めてたら、隣で買い求めるお母さんの声。「これ、起つき上がり小法師くんつえ。」「はあい。いくつやっぺし。」「四つ。いや、五つだ。」息子の嫁さんの分も入れて。早く嫁様に来て貰わなねえから。」

明るい笑い声とやりとり、思わず頷いて。そうだよね。それで私も、起き上がり小法師をもう一つ、哲哉さんのお嫁さんになってくれる人の分。一番にひよいと起き上がりって愛嬌のある小法師さんをね。今度はいつ来るの。

「いたいの、いたいの、あむあむあむあむーママ、いたいの、いたいの、いたいの、あむあむあむあむーママ、のまあるいあななの瞳。コッソん！とぶつかった私とあなたのおでこ。赤くなったおでこに涙が今にも落ちそうなの目。もみじの手で私のおでこを撫でながら私の痛みを食べてくれるあなた。

あなたを生んだときママはあなたと約束したの。その小さな手を強く握ってくれる人を見つけるまでママにあなたを守らせてください、と。

今、私の膝に体を預け小さな寝息をたてるあなた。そんなあなたも大きくなるにつれてママの知らない所で泣くようになるでしょうね。膝を抱き唇をかんで涙すら流せない夜も来るでしょう。ママが食べてあげられない痛みにも出会うでしょう。

それでもあなたは大丈夫。誰かの痛みを食べようとするあなたなら強く優しく生きていける。沢山の人と出会い、広い世界で生きなさい。大事な人を大事にしなさい。誰かの痛みに寄り添える人間になりなさい。

「母から子への手紙コンテスト」入賞作品集 好評発売中

第7、8回・第9、10回・第11、12回コンテストの作品集を販売しています(各500円)。購入を希望する人は、学びいなかでお求めください。  
 町総務課(学びいなか内) ☎(72) 0180

